

先日の「平成26年度ぎふグローバル人材育成推進モデル事業」の活動を通じて、感じたこと、学んだことなどを生徒の皆さんに書いていただきました。

①前回の発表までの総合を振り返って……

- ・もっと時間があればクオリティーの高いものがつくれたのではないかなあと思う。
- ・普段は絶対にいかないところや、やらないことばかりだったのすごく楽しかった。
- ・外へ調べに出かけたり、水質検査をしたり、内容の濃い活動ができたと思う。
- ・話す内容を訳す人、プレゼンを作り人に分担して効率よく進められた。
- ・暗記も大事けどしっかりとしっかり話して、「しっかり相手に伝える」ということを頑張りたい。
- ・みんなと協力しながらいろんなことを進めていくのが楽しかった。
- ・相手の質問にまったく答えられなかったことが悔しかった。質問を想定して調べる学習を全員が励むべきだと思う。
- ・一生懸命に取り組めてきたからこそ難しい文章になってしまってもクオリティを優先できる雰囲気がとてもよかった。
- ・フィリピンについて興味を持つことができた。
- ・鵜飼について知らないフィリピンの人にどうすれば興味を持ってもらえるかを考えて、わかりやすい文章や絵を交えて発表できた。
- ・英文作成やパワーポイントの作成などは大変でしたがいい発表をするためには重要な作業でした。
- ・どれだけ本番までに練習やリハーサルを重ねても緊張などで理想通りにいかない。これからはそういう場をたくさん経験して本番に慣れていきたい。
- ・英語力を身に着ける大きなきっかけになった。
- ・輪中というテーマが難しかったが、輪中館にいったり実際に見て学べたことがよかった。
- ・岐阜県を通っている長良川なのに意外と知らなかったことが分かった。他の班の発表で分かったこともたくさんありました。
- ・今まで自分がずっと気になっていたことが解決したことがうれしかったし、それをほかの人に分かってもらえるように伝えることの大切さを知った。
- ・グループのテーマを決めるのに時間がかかったけど、皆で出し合ったからどのテーマでもしっかりとやろうと思えた。
- ・長良川の現状を知ることができ、岐阜県民としての自覚が高まった気がしました。
- ・英作文をしていると分からないことがたくさん出てきて今までよりも勉強する意欲がわきました。



- ・グループ全員で協力してプレゼンを計画することができ、仲が深まりました。
- ・1回目の発表では反省点も多く、悔しい思いをしたが、それを2回目の発表で改善できたし、1回目よりも詳しくわかりやすい発表ができたと思う。
- ・グローバルを通して英語で話したり考えたりする時間が増え、英語の力がついたのでと感じている。
- ・何十回にも及ぶ英文の添削、プレゼンの練習を通して、グループ内の強まりが深まったと思う。

②何か気づいたこと、学んだこと…

- ・体を使って相手に伝えようとする表現力は実際に経験するととても難しいことだと実感した。
- ・自分の思っていることと人の思っていることは本当に全然違っているのだと分かった。
- ・短くわかりやすい文章作りが難しい。
- ・慣れない単語を覚えるのは大変だったけど自分のためになった。
- ・緊張してしまって表情が硬い子がいたので笑顔で話せたらもっと良いなあということを学んだ。
- ・相手が何を言っているかわからないけど、伝えるためにグループで色々考えたりほかの国の人と交流するのは楽しい。
- ・外国の人とコミュニケーションがとれたことの嬉しさを実感できたと同時に、相手の言っていることをしっかり把握できない今の自分がもどかしく感じた。
- ・相手に伝えることができたときの達成感がすごかった。
- ・この活動を広めていけば英語力やグローバル感覚がより身に付くと思う。
- ・緊張してカメラのほうに目がいかなかった。指さしをうまく活用できなかった。
- ・「フィリピンとつながらないのもグローバルなんだ」と視野が広がった気がする。
- ・勇気をもって積極的に参加することで海外の人と友情を築きあげれることを改めて実感した。
- ・自然災害を防ぐために工夫が大切だし、昔の人が工夫して協力して作ったものを大切にしないといけないと思った。
- ・輪中について調べたことから昔の人の知恵や仲間との結束力はとても強いものだと実感した。
- ・インターネットで調べるだけでなく、図書館で本を借りたり、博物館に行ってみて実際に体験できたので相手にも伝えやすかった。
- ・自分たちの住んでいる岐阜について、歴史や文化、土地の特徴など、まだ知らないことがたくさんあることに気付いた。一人で調べるより、グループで調べるほうがやる気も出るし楽しいから、総合はこれからもグループでやり遂げたいと思いました。
- ・プレゼンテーションをするときはどれだけスムーズに文章を話せるかではなく、どうやって伝えるかが重要だと分かったので次回するときはそれを意識したいです。
- ・英文を完璧にするだけでなく話し方、ジェスチャーや発音まで気を使っていきたいと思う。
- ・フィリピンの人たちと初めて会話してみて、とてもフレンドリーで私たちのプレゼンを興味をもって聞いてくれたので、伝えたいという気持ちがあれば、言語や文化が違ってても伝わるのだなあと思った。
- ・他のグループの発表でパワーポイントや文章などプレゼンの仕方を見ることで良さや取り入れたい工夫などが見つかった。
- ・国境を超えて日本のことを伝えるので、難しい言葉を使わず簡単に、わかりやすく伝えるためにどうしたらよいか一生懸命考えました。伝わったかはわからないけど、発表した後に達成感が味わえたのでとても楽しかったです。
- ・英語で文章をつくり、相手に伝わるように言うことはとても難しいけど、先生にたくさんきいて、単語や文法なども復習できたとおもうのでよかったです。
- ・英語での発表を通して、英語能力が多少なりとも上がったと自覚しています。
- ・なかなかスカイプが成功しないこと。スカイプがこんなに盛り上がること。

・改めて、英語の難しさ、プレゼンの難しさを学びました。あと、伝わった時の達成感や爽快感を感じることができました。

③ その他… みんなに言いたいこと、担当者（教員）にほやきたいこと、自由に

- ・時間の確保
- ・時間が少なかったので余裕を持たせるように時間を組んでほしい。
- ・何週間もかけて調べまとめたことをたった2分で説明するのはきつい。
- ・画面ばかりみていると眠たくなる。もっと動きたい。
- ・文章の暗記ができないのは内容を把握できていないから。これでは意味がないので全員が無理をしてでも暗記はするべき。
- ・お互い協力し合い、計画性をもって進行した甲斐があった。
- ・携帯を持っている日に携帯で遊んでる姿が多かったので、メリハリをつけないといけないと思った。
- ・プレゼン準備等は総合の時間内に極力抑えるようにしたいです。決められた時間内で仕上げることも勉強の一つだと思います。また突然グローバルの予定が入ったり、急に変更になったりすることがあるため、できるだけそこを改善してほしいです。
- ・グローバルは総合の時間内に終わらせてほしいです。
- ・フィリピンに行きたい。こうやって海外の人とコミュニケーションがとれることはすごいことだと思うけど、やっぱり本場で話してみたいなと思う。
- ・スカイプが無料ということもあって画像や声がきこえにくく、つながりも悪いのでスーパーグローバルでお金をもらっているので有料のスカイプにしてほしいなあ。

生徒代表によるフィリピン視察について

1. 目的 本事業の一環として、交流が始まったフィリピンの生徒と本校の生徒同士が直接面会し交流深め、具体的に協働の態勢を作るとともに、約1年後の共同作業本番が具体的にどの程度進められるかについて折衝を持つ。
2. 日程 平成27年2月11日（水）～14日（土）3泊4日
3. 引率 教員3名
4. 生徒代表 5～6名
5. 内容
 - ①交流校「レイテ国立高校」訪問
 - ・学校内の見学
 - ・生徒間での交流
 - ・レイテ高校の生徒からのプレゼンを聞く
 - ・教員間でのこれまでの振り返りと今後の打合せ
 - ・協働事業の実現の可能性の模索
 - ②現地の被災状況、復興状況の視察
 - ③現地での支援活動